



2023年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年3月14日

上場会社名 グローバルスタイル株式会社 上場取引所 東
コード番号 7126 URL <https://www.global-style.jp/corporate/company/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田城 弘志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 名本 育広 TEL 06-6206-2711
四半期報告書提出予定日 2023年3月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第2四半期の業績（2022年8月1日～2023年1月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第2四半期	4,676	7.2	159	△32.4	177	△25.5	165	12.8
2022年7月期第2四半期	4,361	-	236	-	238	-	146	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第2四半期	53.00	50.02
2022年7月期第2四半期	50.32	45.62

- (注) 1 当社は、2021年7月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年7月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
- 2 2023年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第2四半期	7,662	1,737	22.7
2022年7月期	6,681	1,605	24.0

(参考) 自己資本 2023年7月期第2四半期 1,737百万円 2022年7月期 1,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	-	0.00	-	42.00	42.00
2023年7月期	-	0.00	-	-	-
2023年7月期（予想）	-	-	-	-	-

- (注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
- 2 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定です。
- 3 2023年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年7月期の1株当たりの期末配当金については、当該株式分割前の実際の配当金を記載しております。

3. 2023年7月期の業績予想（2022年8月1日～2023年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,553	16.0	633	15.3	659	17.8	422	23.0	137.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。

2023年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を計算しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年7月期2Q	3,502,744株	2022年7月期	3,502,744株
② 期末自己株式数	2023年7月期2Q	350,700株	2022年7月期	434,008株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年7月期2Q	3,113,716株	2022年7月期2Q	2,906,029株

（注）当社は、2023年2月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本書類に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会に関する説明）

本四半期決算短信の開示日時点においては、2023年3月27日（月）に機関投資家・アナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。しかし、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、ご説明方法を当社ウェブサイトでのオンデマンド配信に変更することがあります。ただし、いずれの開催方法の場合においても、使用する四半期決算説明資料等は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和され、社会経済活動も正常化への兆しが見られる一方、エネルギー価格の高騰や急激な円安の進行による物価上昇等の影響もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属するオーダースーツ業界におきましても、原材料価格の高騰や円安の影響による仕入原価の上昇など、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社におきましては、「Enjoy Order すべてのお客様にオーダーメイドを楽しんでいただく」のコンセプトのもと、新規出店や新たな顧客サービスの開発等に積極的に取り組んでまいりました。

まず、当第2四半期累計期間における新規出店といたしましては、8月に埼玉県初出店となる「GINZA Global Style COMFORT 大宮門街店」、9月には静岡県初出店となる「GINZA Global Style COMFORT 静岡呉服町店」、福岡県3店舗目となる「GINZA Global Style COMFORT セントシティ北九州店」、11月には千葉県初出店となる「GINZA Global Style COMFORT ビックカメラ千葉駅前店」を出店いたしました。当該4店舗の出店は、同地域での更なる新規顧客の獲得を推進するとともに、既存顧客の利便性向上にも大きく寄与しております。また、上記新店舗の営業状況といたしましても、当初計画を上回る4億82百万円を受注するなど順調なスタートを切ることができております。

上記新規出店を含め、当第2四半期累計期間末の店舗数は34店舗となりました。

また、新たな顧客サービスとして10月より開始いたしました「GSクローゼット」につきましても、サービス開始より多くのお客様にご利用いただいております。今後更に認知度を高めていくことで、利用者数が増加するものと見込んでおります。

以上のような取り組みの結果、売上高につきましては、当社主力工場のある中国の旧正月休暇の日程が昨年より早い時期（昨年1月31日～2月6日、今年1月21日～27日）であった影響により、前年に比べ既受注分の売上高の計上が大きく第3四半期に後ろ倒しとなっているものの、46億76百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、新規出店に伴う地代家賃やWEB広告施策実施による広告宣伝費等が増加したことから23億35百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益1億59百万円（前年同期比32.4%減）、経常利益1億77百万円（前年同期比25.5%減）、四半期純利益1億65百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

当社はオーダースーツの販売店舗を運営する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ9億80百万円増加し、76億62百万円となりました。流動資産につきましては、前事業年度末に比べ6億28百万円増加して、43億17百万円となりました。主な変動要因は、受取手形及び売掛金が1億61百万円、原材料及び貯蔵品が3億65百万円、仕掛品が93百万円増加したことによるものであります。また、固定資産につきましては、新規出店により前事業年度末に比べ3億52百万円増加し、33億44百万円となりました。

(負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ8億48百万円増加し、59億24百万円となりました。

流動負債につきましては、前事業年度末に比べ9億25百万円増加し、42億47百万円となりました。主な変動要因は、前受金が7億44百万円、短期借入金が増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前事業年度末に比べ76百万円減少し、16億77百万円となりました。主な変動要因は、その他固定負債が66百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ1億31百万円増加し、17億37百万円となりました。主な変動要因は、前期の期末配当64百万円を実施した一方で、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分等により自己株式が41百万円減少し、資本剰余金が5百万円減少したことに加え、四半期純利益1億65百万円を計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ67百万円減少し、12億69百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2億38百万円（前年同四半期は2億26百万円の収入）となりました。これは、主に税引前四半期純利益1億61百万円、減価償却費1億18百万円、前受金の増加額7億22百万円があったものの、売上債権の増加額1億61百万円、棚卸資産の増加額4億40百万円、未払消費税等の減少額24百万円、未収消費税等の増加額37百万円、法人税等の支払額1億35百万円等の要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3億93百万円（前年同四半期は1億76百万円の支出）となりました。これは、主に投資不動産の賃貸による収入39百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出3億13百万円、敷金の差入による支出98百万円等の要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は86百万円（前年同四半期は4億60百万円の収入）となりました。これは、主に短期借入金の純増加額3億円、長期借入れによる収入45百万円、自己株式の処分による収入17百万円があったものの、長期借入金の返済による支出1億7百万円、社債の償還による支出30百万円、リース債務の返済による支出73百万円、配当金の支払額63百万円等の要因によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月期通期の業績予想につきましては、2022年9月14日の「2022年7月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,336,983	1,269,733
受取手形及び売掛金	322,939	484,406
商品及び製品	164,814	146,685
仕掛品	61,085	154,794
原材料及び貯蔵品	1,732,262	2,097,623
その他	81,011	176,662
貸倒引当金	△10,496	△12,632
流動資産合計	3,688,599	4,317,273
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,382,431	1,513,491
その他(純額)	811,198	916,551
有形固定資産合計	2,193,629	2,430,043
無形固定資産		
投資その他の資産	124,846	113,975
その他	676,102	802,697
貸倒引当金	△1,816	△1,816
投資その他の資産合計	674,286	800,881
固定資産合計	2,992,762	3,344,899
資産合計	6,681,362	7,662,172
負債の部		
流動負債		
買掛金	369,906	439,200
短期借入金	1,500,000	1,800,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	195,974	151,976
未払法人税等	138,557	50,875
契約負債	179,812	187,253
前受金	444,391	1,189,269
賞与引当金	-	6,865
役員賞与引当金	15,000	-
その他	418,574	362,136
流動負債合計	3,322,216	4,247,577
固定負債		
社債	170,000	140,000
長期借入金	1,017,232	998,416
退職給付引当金	53,671	57,747
資産除去債務	159,953	194,560
その他	352,611	286,340
固定負債合計	1,753,468	1,677,064
負債合計	5,075,685	5,924,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
資本剰余金	143,381	137,961
利益剰余金	1,598,938	1,699,524
自己株式	△217,033	△175,427
株主資本合計	1,605,285	1,742,058
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	391	△4,527
評価・換算差額等合計	391	△4,527
純資産合計	1,605,677	1,737,530
負債純資産合計	6,681,362	7,662,172

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年8月1日 至2022年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年8月1日 至2023年1月31日)
売上高	4,361,515	4,676,338
売上原価	2,020,825	2,181,153
売上総利益	2,340,689	2,495,185
販売費及び一般管理費	2,104,480	2,335,533
営業利益	236,208	159,651
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	114	76
為替差益	250	409
賃貸料収入	25,153	39,255
物品売却収入	5,269	6,043
その他	1,858	2,230
営業外収益合計	32,654	48,023
営業外費用		
支払利息	16,033	13,990
賃貸収入原価	6,022	11,512
物品購入費用	2,583	3,357
その他	5,305	894
営業外費用合計	29,944	29,755
経常利益	238,919	177,919
特別利益		
協力金収入	1,723	-
特別利益合計	1,723	-
特別損失		
固定資産除却損	0	12,740
減損損失	9,149	-
事務所移転費用	-	3,863
特別損失合計	9,149	16,603
税引前四半期純利益	231,492	161,315
法人税、住民税及び事業税	80,744	47,854
法人税等調整額	4,509	△51,568
法人税等合計	85,253	△3,714
四半期純利益	146,238	165,029

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年8月1日 至2022年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年8月1日 至2023年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	231,492	161,315
減価償却費	104,726	118,935
減損損失	9,149	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,363	2,136
受取利息及び受取配当金	△122	△85
支払利息	16,033	13,990
固定資産除却損	0	12,740
売上債権の増減額 (△は増加)	△134,525	△161,466
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△106,561	△440,941
前渡金の増減額 (△は増加)	△47,145	-
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,772	69,665
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△91,870	△24,226
未収消費税等の増減額 (△は増加)	-	△37,621
前受金の増減額 (△は減少)	358,279	722,393
その他	△17,782	△42,536
小計	326,807	394,299
利息及び配当金の受取額	123	85
利息の支払額	△17,467	△16,055
協力金の受取額	2,463	-
移転費用の支払額	-	△3,863
法人税等の支払額	△85,366	△135,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,560	238,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△134,952	△313,125
無形固定資産の取得による支出	△2,230	△10,753
敷金の差入による支出	△62,858	△98,123
投資不動産の賃貸による収入	25,399	39,677
投資不動産の賃貸による支出	△2,745	△4,528
その他	626	△6,301
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,760	△393,154
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	350,000	300,000
長期借入れによる収入	300,000	45,000
長期借入金の返済による支出	△376,144	△107,814
社債の発行による収入	100,000	-
社債の償還による支出	△34,700	△30,000
リース債務の返済による支出	△83,456	△73,935
自己株式の処分による収入	230,098	17,088
配当金の支払額	△25,028	△63,669
その他	△82	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	460,686	86,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	249	405
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	510,735	△67,249
現金及び現金同等物の期首残高	1,334,807	1,336,983
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,845,542	1,269,733

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社は、オーダースーツの販売店舗を運営する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。